

鹿児島県初記録のマルガオベンケイガニ及びスマトライワベンケイガニ

藤田喜久

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学

Abstract

Two species of sesarimid crab, *Danarma leptomerus* (Davie & Ng, 2013) and *Stelgistra stormi* (De Man, 1895), are recorded from the rocky shores of Yoron Island, the Ryukyu Islands, Japan. This report represents the first record of either species in Kagoshima Prefecture.

はじめに

鹿児島県与論島の石灰岩岩礁海岸から、ベンケイガニ科に属するマルガオベンケイガニ *Danarma leptomerus* (Davie & Ng, 2013) とスマトライワベンケイガニ *Stelgistra stormi* (De Man, 1895) を確認した。両種は、琉球列島の石灰岩岩礁域に生息する希少種であり、鹿児島県下ではこれまでに記録が無かった(藤田, 2017a; 前之園・藤田, 2017)。また、与論島は両種の分布北限記録となるため、本報にて採集標本に基づき報告する。

材料と方法

調査は、2024年7月12-14日、2024年11月15-17日、2025年8月4-6日の夜間に、与論島西部に位置するアイギ海岸、同島北東部の皆田海岸、同島南部の前浜海岸の石灰岩岩礁域を踏査し、発見したカニ類を徒手にて採集した。採集した個体は写真撮影を行った後に70%エタノールにて保存した。保存標本は、デジタルノギスを用いて最大甲長および甲幅を計測し、雌雄を判別した。本研究で得られた標本は、全て琉球大学博物館(風樹館, RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan)に収蔵した。

結果と考察

Danarma leptomerus (Davie & Ng, 2013)

マルガオベンケイガニ

(図 1A, B)

調査標本 1雄(RUMF-ZC-6173, 甲長11.9 mm, 甲幅15.8 mm), 2024年11月17日, 前浜海岸, 藤田喜久採集。1雄(RUMF-ZC-6174, 甲長8.3 mm, 甲幅10.8 mm), 2024年7月12日, 皆田海岸, 藤田喜久採集。

備考 今回得られた標本は、甲の額が幅広く、弓状に(半円状に)強く下垂すること、第1腹肢の先端が細長いこと、尾節と第6腹節の長さがほぼ同長であることなどの特徴を有しており、先行研究によるマルガオベンケイガニ *Danarma leptomerus* (Davie & Ng, 2013) の特徴(Davie & Ng, 2013; 藤田, 2017b, 2018)に良く一致していた。

岩野(2025)は近年、本種に酷似するルリメベンケイガニ *D. eurymerus* (Davie & Ng, 2013) を沖縄島から記録したが、眼の角膜部が鮮やかな青色を呈すること、雄の尾節が第6腹節よりも約1.5倍長いこと、雄の第1腹肢の先端が太く短いことなどにより、本種と区別することができる。

マルガオベンケイガニは、石灰岩岩礁域の潮上帯や飛沫転石帯などに生息していることが知られているが(前之園・藤田, 2017)、本研究で調査を実施したアイギ海岸、皆田海岸、前浜海岸においても同様の環境にて観察・採集された。また、本研究では、本種が岩礁域に生育するソナレムグラ *Leptopetalum coreanum* (H.Lév.) Naiki et Ohi-Toma var. *coreanum* の枯れ枝を摂食していること

Yoshihisa, F. 2025. First records of two sesarimid crabs, *Danarma leptomerus* (Davie & Ng, 2013) and *Stelgistra stormi* (De Man, 1895) (Decapoda: Brachyura: Sesarimidae) in Kagoshima Prefecture. *Nature of Kagoshima* 52: 131-133.

☑ FY: Okinawa Prefectural University of Arts, Shuri-Tounokura 1-4, Naha, Okinawa 903-8602, Japan (e-mail: fujitayo@okigei.ac.jp).

Received: 25 November 2025; published online: 27 November 2025; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-031.pdf

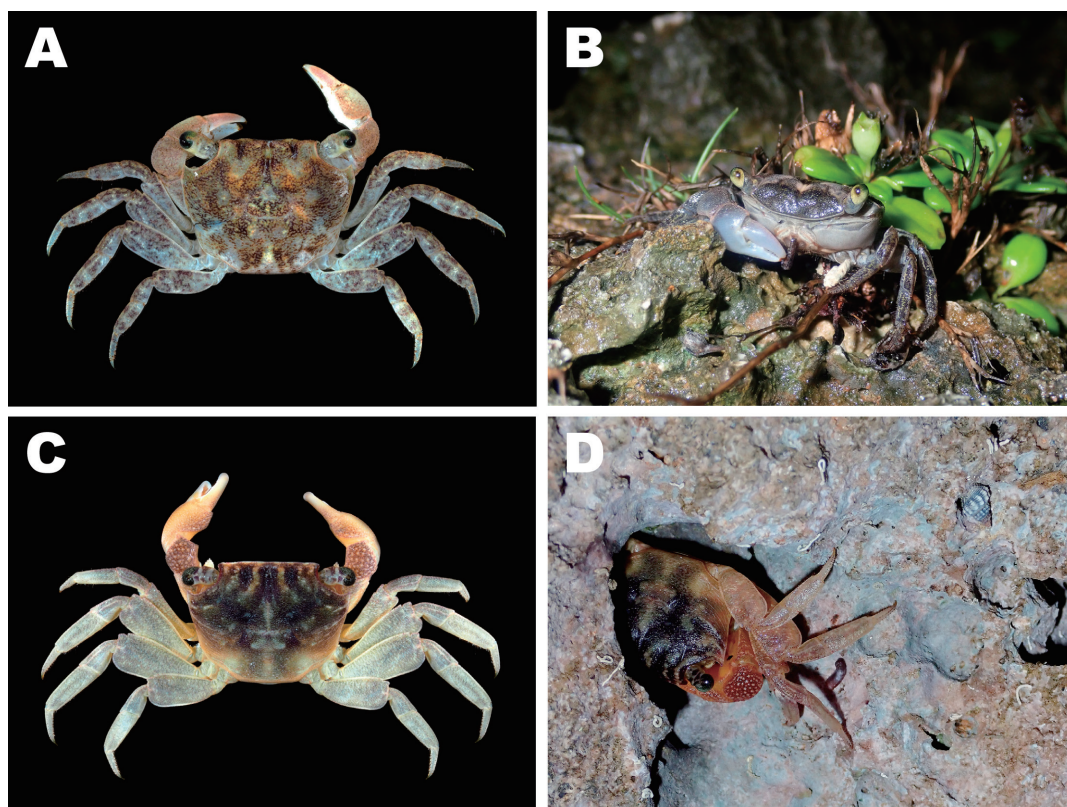


図 1. 与論島の岩礁海岸から採集されたベンケイガニ類 2 種。A, マルガオベンケイガニ, 全体背面 (RUMF-ZC-6174); B, マルガオベンケイガニの生態写真, 前浜海岸にて 2024 年 11 月 17 日に撮影 (RUMF-ZC-6173); C, スマトライワベンケイガニ, 全体背面 (RUMF-ZC-6172); D, スマトライワベンケイガニの生態写真, アイギ海岸にて 2025 年 8 月 4 日に撮影 (標本は未採集)。
Fig. 1. Two sesarimid crab species collected from the rocky shores of Yoron Island, the Ryukyus Islands, southwestern Japan. A, *Danarma leptomerus* (Davie & Ng, 2013), whole animal, dorsal view (RUMF-ZC-6174); B, *In situ* photograph of *D. leptomerus*, photo taken at the Machama coast on November 17, 2024 (RUMF-ZC-6173); C, *Stelgistra stormi* (De Man, 1895), whole animal, dorsal view (RUMF-ZC-6172); D, *In situ* photograph of *S. stormi*, photo taken at the Aigi coast on August 4, 2025 (specimen not collected).

も観察された (図 1B)。

本種は、これまでに沖縄県の島嶼からのみ知られており、沖縄島、古宇利島、南大東島、宮古島、下地島、池間島、フデ岩、石垣島、波照間島、与那国島から記録がある (Davie & Ng, 2013; 藤田, 2017a, 2018; 佐藤ほか, 2020)。したがって、本報は、鹿児島における本種の標本に基づく初記録であり、また、与論島は本種の分布北限記録となる。本種は沖縄県のレッドデータブックにおいて準絶滅危惧 (NT) と評価される希少種であり (前之園・藤田, 2017)、今後、鹿児島県においても詳細な分布調査を実施する必要があると考えられる。また、岩野 (2025) は、沖縄島で本種とルリメベンケイガニが同所的に生息することを報告していることから、与論島においても今後の詳細な

調査により、ルリメベンケイガニが発見される可能性も考えられる。

Stelgistra stormi (De Man, 1895)

スマトライワベンケイガニ

(図 1C, D)

調査標本 1 雌 (RUMF-ZC-6172, 甲長 11.4 mm, 甲幅 15.5 mm), 2024 年 11 月 16 日, アイギ海岸, 藤田喜久採集。

備考 今回得られた標本は、甲の額が幅広く、下方に垂れること、鉗脚の指部先端がスプーン状になることなどの特徴を有しており、先行研究によるスマトライワベンケイガニ *Stelgistra stormi* (De Man, 1895) の特徴 (Komai et al., 2004; 藤田,

2017b, 2018) に良く一致していた。

本種は、石灰岩岩礁海岸の高潮線上部の飛沫帯に生息していることが知られ (Komai et al., 2004; 藤田, 2017a), 本研究で調査を実施したアイギ海岸, 皆田海岸, 前浜海岸においても同様の環境にて観察することができた。ただし, 本種は夜間でも岩礁の隙間付近にあり (図 1D), 近づくとすぐに逃げ込むため, 採集は極めて困難であった。

本種は, これまでに沖縄県の島嶼 (沖縄島, 宮古島, 池間島, 来間島, 多良間諸島水納島, 西表島) からのみ記録されている (藤田, 2018)。また, 本種は沖縄県のレッドデータブックにて準絶滅危惧 (NT) と評価される希少種でもある (藤田, 2017a, b, 2018)。本報は, 鹿児島における本種の標本に基づく初記録であり, また, 与論島は本種の分布北限記録となる。

謝 辞

本研究を実施するにあたり, 与論郷土研究会の麓 才良氏には, 調査器材の管理や野外調査に際しご協力をいただいた。本研究の実施には, 公益財団法人自然保護助成基金プロ・ナトゥーラ・ファンド助成による支援を受けた。以上の関係者

および関係機関に感謝する。

引用文献

- Davie, P. J. F. and P. K. L. Ng. 2013. A review of *Chiromantes obtusifrons* (Dana, 1851) (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae), with descriptions of four new sibling-species from Christmas Island (Indian Ocean), Guam and Taiwan. *Zootaxa*, 3609: 1–25.
- 藤田喜久. 2017a. スマトライワベンケイガニ, P. 340. 沖縄県文化環境部自然保護課 (編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (動物編) — レッドデータおきなわ —. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇市.
- 藤田喜久. 2017b. 宮古諸島水納島の十脚甲殻類相. 宮古島市博物館紀要, 21: 91–110.
- 藤田喜久. 2018. 宮古諸島池間島・大神島・来間島の十脚甲殻類相. 宮古島市総合博物館紀要, 22: 55–75.
- Komai, T., T. Nagai, A. Yogi, T. Naruse, Y. Fujita and S. Shokita. 2004. New records of four grapsoid crabs (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from Japan, with notes on four rare species. *Natural History Research*, 8: 33–63.
- 前之園唯史・藤田喜久. 2017. マルガオベンケイガニ, P. 337. 沖縄県文化環境部自然保護課 (編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (動物編) — レッドデータおきなわ —. 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇市.
- 岩野泰介. 2025. 沖縄島より採集された日本初記録のルリメベンケイガニ (新称) (十脚目: 短尾下目: ベンケイガニ科). *Fauna Ryukyuna*, 77: 67–69.
- 佐藤大義・宇田 龍・内田晃士・芦田 晃. 2020. 琉球列島における稀少性ベンケイガニ科カニ類 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目) 3 種の新産地記録. *Fauna Ryukyuna*, 54: 11–14.